

呉錦堂を語る会通信

NO.8 Jun. 2013

発行 兵庫県芦屋市岩園町3-12
呉錦堂有限会社内「呉錦堂を語る会」
Tel. 090-7876-6005
編集 「呉錦堂を語る会通信」編集委員
発行日 2013年6月1日



「松海別荘での孫文先生歓迎午餐会から百周年を記念する集い」開催

2013年3月14日 於：移情閣（孫文記念館）

2013年3月14日（木）、午後5時半から移情閣の1階で、「松海別荘での孫文先生歓迎午餐会から百周年を記念する集い」が開催され、呉錦堂令孫呉伯瑄氏ご夫妻、孫中山記念会副理事長愛新翼氏、神戸華僑総会会長鮑悦初氏、孫文記念館館長安井三吉氏ほかが出席されました。集いでは、来賓・主催者の挨拶に続き、安井館長の講演、「孫文歓迎午餐会に参加した人々」がありました。

ここに、呉伯瑄氏の挨拶と会場風景の写真を掲載いたします。

ごあいさつ

呉 伯瑄



祖父が他界して今年でかれこれ87年になります。一民間人であった呉錦堂が、その当時、三井や住友と並ぶほどの事業を成功させ、その名を天下にとどろかせたわけですが、残念ながら、今はその事業の名残もございません。ただ祖父は、その当時の勢いを社会奉仕につながる地域開拓（小東野一帯の開発や呉錦堂池）、また、教育という分野にまで拡大させたことが、現在、このように子子孫孫までその名を残すことになったのだと思います。

中国浙江省慈溪市には、祖父が大規模に修復した白洋湖、杜湖を前に、資料館や墓守の家などを背景に備えた巨大なお墓があります。また、祖父が建設した、今では国の重点校として多くの優秀な人物

を輩出している“錦堂職業高校”は今もなお発展の途上にあります。現在、約1800名の生徒が在籍し、新校舎の建築、敷地の整備は止むことなく続いております。一方、歴史を感じさせる昔の正面の雰囲気ある門構えはそのまま残っています。

そして、ここ舞子には、自分の別荘である“移情閣”を建設しました。祖父の社会的地位や財力を物語るかのように、内装に到るまで当時の建築では最先端の技術に費用をかけています。孫文をこの場所に招待した時は、まだ移情閣は建設されていませんでした。しかし、招待場所である“松海荘”も立派な建物でした。そうしたことから100年たった現在、こうして有難いことに、孫である私までが



会場風景

その恩恵に与り、ここに招待されている次第です。

私自身としましては、2011年の11月に“石碑”を設置させていただきました。孫文記念館という名前が前面にでていることで、呉錦



講演の安井館長

堂の別荘であったことがついつい忘れられがちになります。見学に訪れる方々に“ここは呉錦堂の別荘だったんです”という、せめて孫としての気持ちを伝えたいと思いました。そこで、移情閣のそばに何か残したいと思い、県にその考えを理解していただきまして、“旧呉錦堂別邸”碑を設置させていただきました。祖父も喜んでくれるといいのですが。

私がこれからしなければならない事は、“私が呉錦堂の孫として生を受けた事を誇りに思っている”という事を、子孫に伝えることかと思えます。“若い世代”にすべてを今、理解させることは、いろんな意味で無理があります。しかし、このような場に、これから本人が出席していくようになり、さまざまな分野の方との交流を通じて、段々と自覚していくようになるのだろーと思えます。

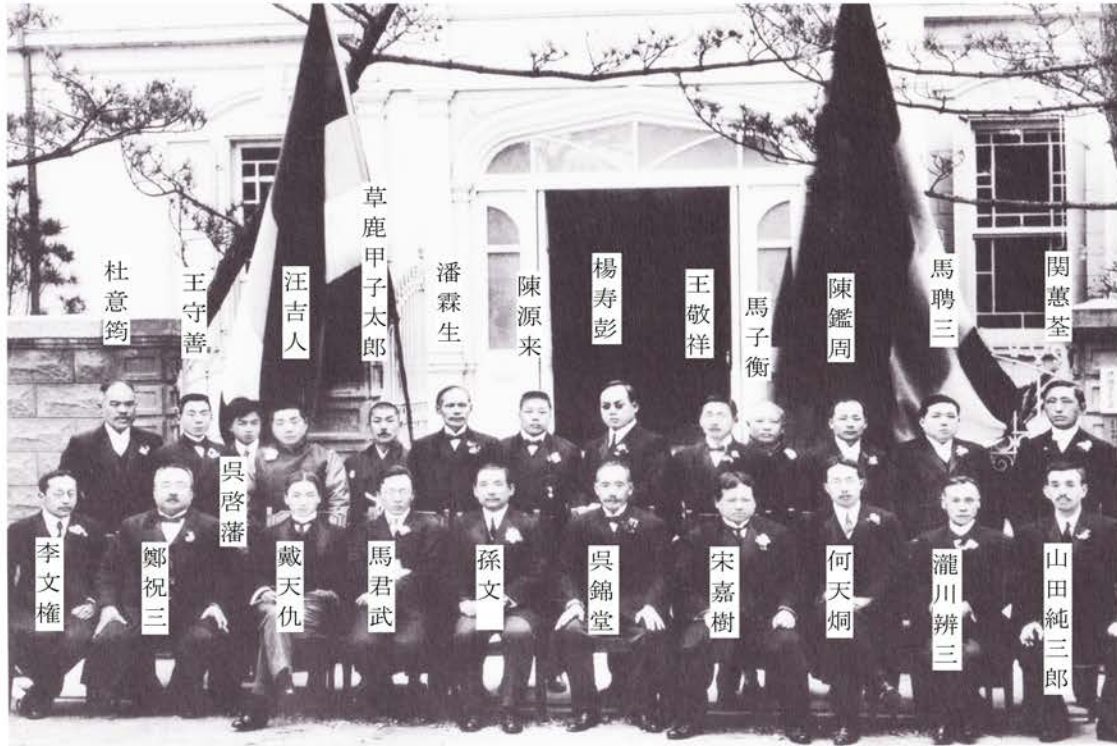
皆様、その節は、どうぞ私同様、ご指導、ご鞭撻を賜りますよう、この場を借りまして、宜しくお願い申し上げます。

（文責：編集委員 橋 雄三）

< 孫文と日本 二つの百周年記念企画 (1) >

「松海別荘での孫文先生歓迎午餐会から百周年を記念する集い」

(3月14日、孫文記念館)



孫文は、1913（大正2）年春には「準国賓」として、夏には「亡命者」として来日しました。今年、この二度の来日から百年目になります。

1913年2月13日、孫文は長崎より上陸、東京をはじめ、世界各地で朝野を挙げての歓迎を受けました。3月13日、孫文は大阪から阪神電車で神戸に到着、中華会館、神戸キリスト教青年会館での歓迎会に出席、翌14日、神戸華僑同文学校（現在の神戸中華同文学校）、川崎造船所を参観、午後1時、呉錦堂の松海別荘（舞子）での歓迎午餐会に臨みました。4時過ぎまでいろいろ話が弾んだようです。広島、福岡、熊本を経て23日、長崎から上海に帰って行きました。

松海別荘は今は残っていませんが、1915（大正4）年に建てられた移情閣は、現在は孫文記念館として明石海峡を眼前に聳えています。松海別荘での午餐会は、孫文記念館の原点ともいえます。

そこで、ささやかではありますが、下記のように「記念の集い」を催すこととしました。皆さまのご参加をお待ちしています。

主催：（公財）孫中山記念会

日時：3月14日（木）、午後5時30分—6時30分

会場：孫文記念館（移情閣）

次第：ご挨拶

（公財）孫中山記念会理事長

田崎雅元

中国駐大阪総領事館総領事

劉毅仁

神戸華僑総会会長

鮑悦初

呉錦堂ご子孫

呉伯瑄

講演 「孫文歓迎午餐会に参加した人々」

孫文記念館館長

安井三吉

*定員（60名）に達し次第締め切らせていただきます。

お問い合わせ：孫文記念館（移情閣）電話（078）783-7172

お申し込み先：孫文記念館（移情閣）FAX（078）785-3440

（この頁は孫文記念館作成の案内チラシです。許可を得て、ここに転載させていただきました。一部加工。なお、劉総領事は当日、急用で不参加でした。）